

# なんもく 山村ぐらし通信

## 群馬県の移住相談会に参加

南牧村ブースで移住希望者に対応



交流会では、南牧村での農業をアピール

6月2日  
土)に、東

京有楽町の東

京交通会館3

階グリーンル

ームで、今年

度第1回目の

群馬県移住相

談会。あなた

の夢×移住先

マッチングフ

エア」が開催

され、南牧村

も参加しまし

た。今回は、

県内の14市町

村が相談ブー

スを設けたほ

か、先輩移住

者の講演会や、

移住コーディネーターが移住地域をマ

ツチングする交流会も開催

され、県全体で移住促進に注力していることが感じられました。

南牧村からは、協議会メンバー2名と役員職員1名の3名体制で、ブースに来場した3組4名の相談に対応しました。また、交流会にも飛び入り参加し、職員が移住体験民家をアピールしたほか、移住して農業を生業とするメンバーが、村の農業の魅力についてたっぷり語りました。また、絶好のタイミングで発行された「山村ぐらし通信6月号」も持参してブースの机に配置し、協議会や移住者交流会をトピックスとして紹介しました。

今回の相談会には全体で41組、58名が来場し、活況を呈しました。我々のブースへの来場者は残念ながら少なかったのですが、山村ならではの飾らない説明は、相談者の心に刻まれたことでしょうか。昨秋に移住した私も、村の印象や実体験を話しましたが、まるで昨年までの自分に語っているようで、村の一員になったことを実感しました。

山村暮らしに憧れる方は

## 南牧「ふるさと祭り」に足を運んでみませんか？



祭りといえば「金魚すくい」。毎回大人気です。

潜在的に多いと思います。そうした方々に村の魅力を生き生きと伝えられるよう、自分自身が村暮らしをもっと楽しみたいと改めて思いました。 (松林寄稿)

南牧村では、毎年様々なお祭りが開催されています。

8月14日に役場の山村広場で

ふるさと祭り

を紹介し

ます。

この祭りは、南牧村商

工会青年部が

主催し、村や

地元住民の皆さまにご協力をいただきながら行われます。

毎年大勢の方々を集める「ひとぼし」と並び、村の夏を彩る一大イベントとなっています。提灯が照らす会場では、歌手や芸人さんによるステージや八木節、盆踊りなどが行われ、最後には打ち上げ花火も上げられます。多くの花火大会は河川敷などの広い場所で開催され、目で楽しみます。しかし、南牧村の花火は山々に囲まれた中で打ち上げるので、お腹に響いてくるような花火の重厚な音も楽しめます。

今年も、第38回目のふるさと祭りが盛大に開催されます。ぜひ皆さんも夏の楽しい思い出を作り、会場に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。 (申澤寄稿)



合唱する子供たち

2018(平成30)年8月発行  
通巻第26号版(夏季号)

発行責任者及び発行元:  
南牧山村ぐらし  
支援協議会  
問合せ:南牧村役場  
村づくり・雇用推進課  
協議会事務局  
電話:0274-87-2011(代)

紙面編集:松林・谷津



協議会QRコード

協議会HP  
<http://nanmoku.org/>  
活動内容や各種情報を  
随時更新中!

### 【29年度4~6月 空家問合件数】

電話による問合せ	6件
(4月)	1件
(5月)	4件
(6月)	1件
メール・手紙・FAXでの問合せ	10件
(4月)	2件
(5月)	3件
(6月)	5件
現地物件見学案内	3件
(4月)	0件
(5月)	3件
(6月)	0件

### 【協議会ウェブサイト 訪問・閲覧状況報告】

※4/20~(約90日間)

ページ閲覧数	74,258
サイト訪問数	6,635
サイト訪問者数	4,464 (同一人は1とカウント)
平均ページ閲覧数	11.19ページ

## 我・想・明・村

~移住者との出会いを大切にしたい~

山村ぐらし通信への寄稿のお話を頂いてからズルズルと時間が過ぎ、いつのまにか締切も間近。我「想・明・村」でと声に出してもなかなか文章が思い浮かびません。

いま、村や山村ぐらし協議会が進めている移住者の受け入れや支援は、まだ子供たちが小さかった頃にもあったような気がしません。当時は同じように子育てをしている世帯が何世帯かこの村に移住してきて、子育てという共通の作業を通して親しくなり同じ時間を過ごしていたことを思い出します。残念ながらいまでもこの村に残り住民として暮らしているご家族は、私の知る限り「家族くらいではないでしょうか。子供たちが成長するにつれ、家族また「家族と村を離れ、親しくなった人たちがだんだん離れていく出来事を、残念な思い、寂しさ、

憤りにも似たどこにもぶつけられない思いとが混じり合い、やりきれない気持ちで見送ったものでした。まだ若く子育てに振り回されていた頃は、新たな子育て家族の移住を喜び、子どもを通して親しくなるきっかけを見つけてはお付き合いをさせて頂くなど積極的に行動していたものです。でも、せっかく親しくなったご家族が村を去り、次の年にはまた違うご家族が村を去るといって、経験を幾度か眺めるうちに、知らず知らず自分の中に「必要以上に親しくない」と感じるようになってを、一息ついて私たちが世代に何が出来るか分りませんが、この村が少しでも元気になるように、もう一度前向きな気持ちを取り戻せたいと思います。会うは別れの始めなり」ならば、出会えたことを大切にしていきたいですね。

昔は早見優と呼ば

おはようございます。今この地区の空家状況の調査にまわっています。」



地図とニラメッコ。空家物件の位置を確認していきます。

### 空家家を探しています!!!

現在、南牧村には多くの空家があります。村内に移住を検討されている方にご紹介できる空家を探しています。貸したいが中に荷物がいっぱいある。建物が傷んでいるので貸しづらいなど、空家の賃貸、売却に関するご相談があります。役場 村づくり・雇用推進課までお問合せ下さい。担当・高柳が親切丁寧に対応いたします!

朝、村内放送で流れてたね。少しお聞きしたいのですが、真向いの家は住んでいる方はいらっしゃるんですか?」空家状況の再調査は、こんなやり取りをしながら、ほぼ月一のペースで行っています。

調査メンバーは山村ぐらし支援協議会と役場事務局から3〜8名程度が仕事や用事をやりくりして時間を作り、朝9時頃から始まり午前中いっぱい行われます。移住者である私は自分の住む地区以外はあまり知る機会がないので空家調査のメンバーに入れてもらい活動しています。

見晴らしのいい高台、涼しい沢沿い、狭い道路、急斜面の畑、そしてその地区ごとで出会うこの村の人たち。車を降りて自分の足で歩かないとわからない風景や感触は空家調査の醍醐味でもあります。

少し前ですがテレビで南牧村の過疎化の特集を放送していました。私はその放送をたまたま30〜40人の村人と見えました。が、廃屋を映し南牧村の住宅事情状況として伝えている場面では「ここだけ映すか?」 テレビを見た人に南牧村は大丈夫

## 空家家状況調査に関わりながら

か?と聞かれちゃうよ。」という声があがってしまいました。もちろんこの番組はそういう状況でも南牧村はめげずにいろいろ頑張っているよ!という好意的な内容でしたので、それ以上の声はあがりませんでしたが、確かに空家調査を行っていると多くの廃屋が点在しているのを感じます。

南牧村は昭和30年には人口約10573人・世帯数が1911軒ありましたが平成27年度は人口1973人・953軒 南牧村HP(国政調査より)で人口で約8割、世帯数で約5割減りました。

単純に人口や世帯数からは空家件数はわからないのですが、相当数の空家があることが数字の上でも読み取れます。また人口の減少は2015年の国土交通白書「人口減少が地方まち・生活に与える影響」の中で①生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)の縮小②税収減による行政サービス水準の低下③地域公共交通の撤退・縮小④空家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等の増加⑤地域コミュニティの機能低下等人口減少による地方のまち・生活へのそれぞれの影

響は、生活利便性の低下や地域の魅力の低下を通じて、さらなる人口減少を招くという悪循環に陥ることが考えられると書かれています。南牧村はまさにその真っ只中にあります。南牧村という自治体が無くなる可能性も現実味を帯びてきます。空家調査がこの悪循環の中から少しでも抜けられるようにつながればという思いで調査を行っています。現実はずっと甘くないこともわかっています。



「丸文スタンドも写っていますよ。磐戸宿全景」  
今この時代、グーグルマップ等で「ググって」みて、比較してみるとおもしろいですよ!  
磐戸宿全景(丸文スタンドも写っていますよ。)

### 夕景のなんもく村

今と昔のなんもくを比べてみませんか? この場所がすぐにわかりますか? いっ頃の写真でし

### 『なんもく村』

夕涼みにぶらり歩いてみました。でも涼めるほど涼しくもなく、昼間の暑さが「熱波」ともいえるほど強くて、太陽頑張りすぎだよとぼやいてしまっています。  
子供のころは県道が通学路に決まっていた。今も同じですが、学校の行き帰りは必ず通っていました。でも、毎日の学校の中で、友達と気まずいことがあったりすると、通学路を通るのが嫌で、畑の中の道を通ったり、川沿いを歩いて帰ることに、削ったところ、

それが色々尋ねたら、自分が子供の頃に駆け回った裏道には昔の本通りがあり、良い畑や、屋敷に便利なように、或いは避けるように通っていたようです。それをさらにたどっていくと、隣接する町村にも続いています。いわゆる「古道」です。  
写真の道ですが、人々の移動が歩きだったころはこの道も当たり前のように使われていた。もちろん県道になったところもありません。なかには車で通りやすくするために、削ったところ、



活性化センター下の古道

### 「南牧村の古い写真を探しています!!!」

【協力ください】昔の南牧村の様子や生活を記録した古い写真を探しています。写りが悪くても、折れて曲がっていても大丈夫! いちど引出の奥を覗いてみてください。連絡は役場 村づくり・雇用推進課高柳まで

では、自分で「ググって」見比べてみましょう! 今昔のなんもく探しに出かけてみよう!  
〜仏のヒロシ担当〜